

東証プライム 4229

群栄化学工業株式会社

2025年3月期第2四半期 決算説明資料

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry



- P 3 : 会社概要・事業内容
- P 7 : 2025年3月期第2四半期 決算概要
- P 1 2 : 2025年3月期 業績予想
- P 1 6 : GCIグループ中期経営方針2024進捗
- P 2 1 : Appendix

会社概要・事業内容

企業理念 化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、より豊かな未来社会創りに貢献する

- 社名 : 群栄化学工業株式会社
- 本社所在地 : 群馬県高崎市宿大類町700番地
- 代表者 : 代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎
- 上場区分 : 東京証券取引所 プライム市場
- 資本金 : 50億円
- 従業員数 : 542人
- 国内拠点 : 群馬県、東京都、大阪府、滋賀県、岩手県
- 海外拠点 : タイ、インド、アメリカ、ドイツ



化学品事業



フェノール樹脂 他



フェノール樹脂繊維
(カインール)



でんぷん糖類

電子材料

フォトリソスト用樹脂
【半導体・ディスプレイ向け】

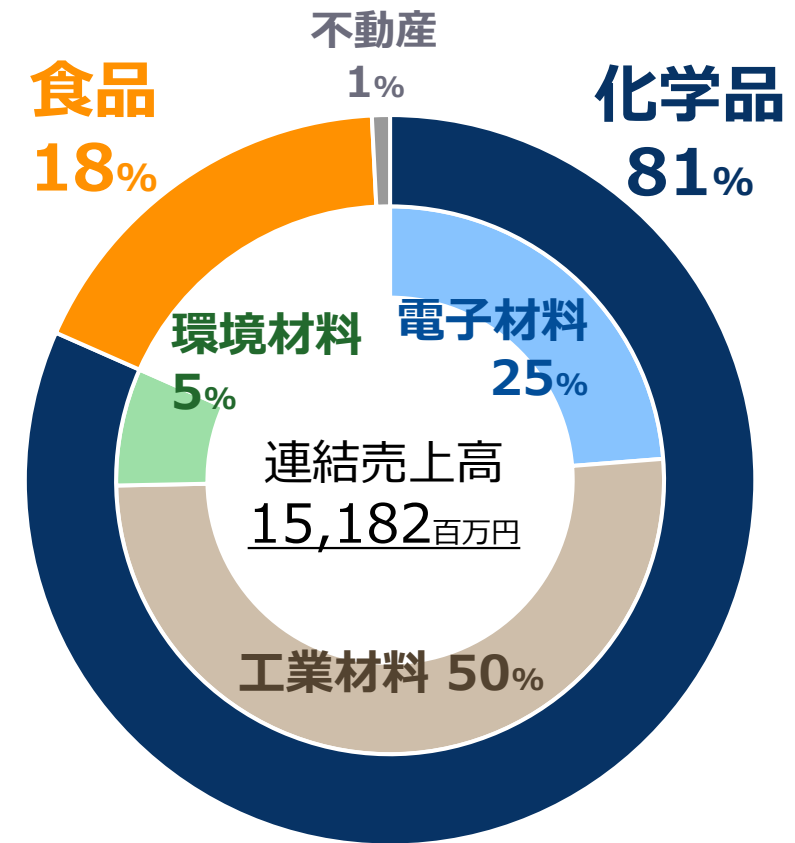
環境材料

活性炭・防護/耐火用繊維
【溶剤回収・航空宇宙向け】

異性化糖・水あめ・穀物糖化液
【清涼飲料・菓子・調味料・酒類・植物性ミルク向け】

工業材料

鋳型・摩擦材・成形材・断熱材用樹脂
【自動車・建設機械・工作機械・住宅設備向け】



E（環境）

- ・環境配慮型製品の開発
（お客様のCO2排出量削減に寄与）
- ・CDP気候変動質問書2023
「B-」（マネジメントレベル）
- ・EcoVadis
「Bronze」（上位35%以上）
- ・省エネ法
「9年連続Sクラス認定」
- ・全国みどりの工場大賞
「関東経済産業局長賞」受賞



S（社会）

- ・イベント、パートナーシップ参加
SDGsぐんま連絡会議
高崎環境パートナーシップ会議
ぐんえいまつり（4年ぶり開催）
- ・各種支援
令和6年能登半島地震義援金
女子テニス国際大会
「高崎国際オープン」協賛



G（統治）

- ・ガバナンス体制の拡充、多様性確保
監査等委員会設置会社移行
譲渡制限付株式報酬制度導入
女性取締役就任
女性管理職比率向上
- ・従業員エンゲージメント
健康経営優良法人2024認定



2025年3月期 第2四半期

決算概要

- 売上高：半導体向け樹脂、ハイエンドディスプレイ向け樹脂が堅調も、中国市況の停滞や国内自動車メーカーの生産停止等の影響を受け、溶剤回収向けカイノール、自動車・機械向け樹脂が低調に推移、でんぷん糖類は商品構成の見直しにより低調に推移し減収
- 営業利益：原材料価格等高騰分の価格転嫁がさらに浸透も、販売減少の影響を受け減益

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減率
売上高	15,618	15,182	▲2.8%
化学品	12,590	12,376	▲1.7%
食品	2,903	2,684	▲7.6%
不動産	123	122	▲1.0%
営業利益	1,606	1,235	▲23.1%
化学品	1,407	1,046	▲25.6%
食品	120	110	▲8.7%
不動産	79	78	▲0.9%
経常利益	1,837	1,436	▲21.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,269	987	▲22.2%

売上高要因

▲4.4億円

販売数量減少

販売単価増加

売上原価要因

+0.8億円

原材料使用量減少

原材料単価増加

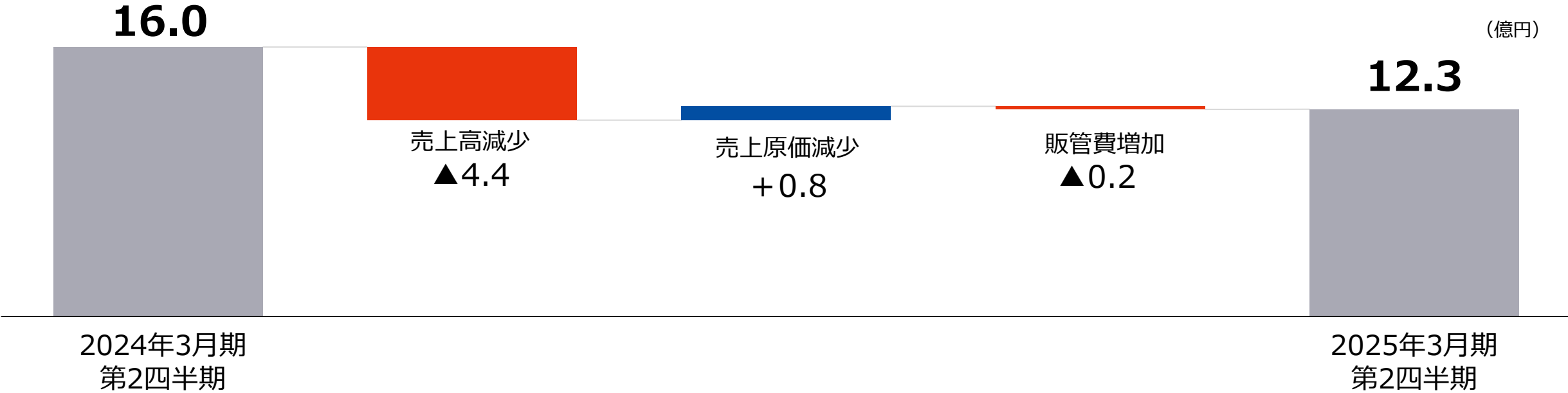
製造固定費増加

販管費要因

▲0.2億円

-

➡ : 利益増加
➡ : 利益減少



用途		販売数量 前上期比	販売動向	主な取り組み
化学品	電子材料	半導体	レガシー・先端向けともに緩やかに回復	・新設備(投資10億円)稼働開始※投資① ・電材新工場(投資35億円)建設開始※投資② '25年度上期完成、下期稼働予定 ・半導体向け製品の拡販 ・半導体後工程材料の開発着手
		ディスプレイ	液晶向けは低調も、有機EL向けは液晶からの置き換えが進み堅調	
	工業材料	自動車	認証不正問題の影響を受け低調	・環境対応製品の開発、拡販強化
		機械	内需・外需ともに低調	
		住宅・設備	住宅向けは低調、非住宅向けは堅調	
	環境材料	溶剤回収	中国経済悪化の影響を受け低調	・カイノール増産に向けた設備投資※投資③ ・新規用途開発 ・品質、生産性改善
		航空宇宙	防衛予算の増加を受け堅調	
	食品	清涼飲料 菓子	猛暑やインバウンドなど需要環境は回復も、商品構成の見直しにより当社販売は減少	・サプライチェーン強化によるコストダウン
		酒類	酒税改正の影響を受け低調	

※：資料20ページに詳細記載

- 資産：売掛金、棚卸資産、投資有価証券の減少等
- 負債：設備投資による設備関係未払金の減少等
- 純資産：中間純利益計上による利益剰余金の増加等

	2024年3月期 期末	2025年3月期 第2四半期末	増減
資産	61,010	59,964	▲1,046
流動資産	24,346	24,041	▲304
固定資産	36,664	35,922	▲741
負債	10,729	9,510	▲1,218
流動負債	7,914	6,914	▲999
固定負債	2,814	2,595	▲219
純資産	50,281	50,453	+172
自己資本	48,530	48,658	+128
負債・純資産合計	61,010	59,964	▲1,046
自己資本比率	79.5%	81.1%	+1.6pt

2025年3月期 業績予想

業績予想を修正

売上高▲4億円、営業利益＋1億円、経常利益＋2億円、純利益＋1億円

修正理由

- 半導体向け樹脂、ハイエンドディスプレイ向け樹脂が当初の想定以上に増加
- 工業材料、環境材料において中国経済悪化の影響が続く

2025年3月期 通期	当初予想	修正予想	増減	(参考) 2024年3月期
				(百万円)
売上高	31,000	30,600	▲400	30,310
営業利益	2,100	2,200	＋100	2,729
経常利益	2,300	2,500	＋200	3,162
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,600	1,700	＋100	2,040

用途		販売数量 前下期比	販売動向（予想）	主な取り組み（計画）
化学品	電子材料	半導体	レガシー・先端向けともに回復が継続	・既存製品のコストダウン ・電材新工場建設 ・半導体向け製品の拡販 ・半導体後工程材料の開発
		ディスプレイ	液晶向けは引き続き低調 有機EL向けは上期水準を維持	
	工業材料	自動車	国内の生産台数は回復も、 中国市場向けの不振により減少	・環境対応製品の開発、拡販強化 ・海外展開強化
		機械	中国経済悪化の影響が継続	
		住宅・設備	住宅向けは低調、 非住宅向けは堅調も成長は鈍化	
	環境材料	溶剤回収	中国経済悪化の影響が継続	・カイノール増産に向けた設備投資 ・品質、生産性改善
		航空宇宙	防衛予算の増加を受け増加	
	食品	清涼飲料 菓子	末端商品の値上げにより需要環境は悪化	・採算是正 ・サプライチェーン強化によるコストダウン
		酒類	酒税改正の影響が継続	

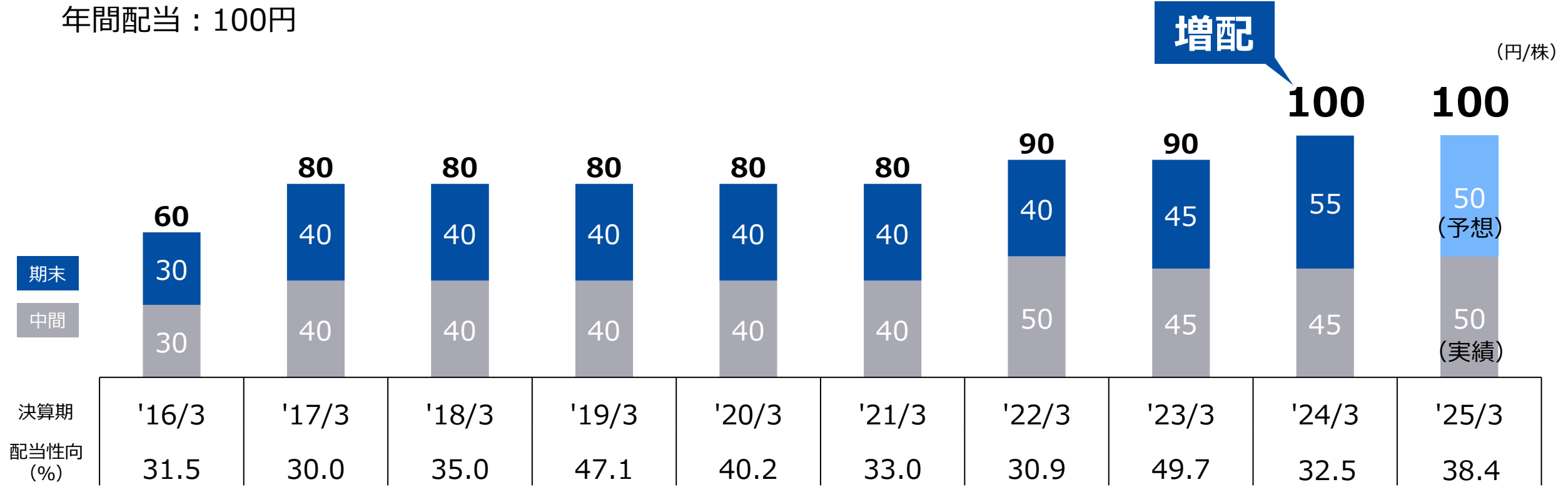
2024年3月期

年間配当：100円（10円増配、90円 → **100円**）

2025年3月期

配当方針：1株当たりの配当の向上に努め、**配当性向40%**（変更前 30%）を目安とした、安定的な配当を目指す

年間配当：100円



GCIグループ^o中期経営方針2024

進捗

社是

節約・勤勉・合理主義

無駄を省き、理にかなった行動で、仕事をやりぬく

理念

化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、
より豊かな未来社会創りに貢献する

長期ビジョン（ありたい姿）

合成・糖化技術の開発・再構築によりグローバルにソリューションを提供し、社会の
持続的成長に貢献できる **“Green Chemical Industry(GCI)”**となる

基本方針

1. 新規事業創出のための基盤作り
2. サステナビリティを巡る課題への取り組み
3. 経営基盤の強化
4. 生産性向上、収益力強化

4つの目指す方向性

① 高純度・先端材料	② 環境対応ケミカル	③ 高機能糖ケミカル	④ 経営基盤強化
電材分野	Green分野		

数値目標

財務目標 (2025年3月期)			非財務目標 (2031年3月期)
売上高	営業利益	営業利益率	CO ₂ 排出量*
350億円	40億円	11%	30%削減

*Scope 1・2, 2014年3月期比

設備投資計画

55億円（内、電子材料関連戦略投資：15億円）

方向性		主な方策	中経最終年度 主な取り組み結果
電材分野	高純度・先端材料	重点投資による事業拡大	- 増設設備 稼働開始※投資① - 電材新工場 工事開始※投資②
		先端材料分野の開発強化	- 半導体周辺材料の開発継続、採用増加 - 後工程材料の開発着手
Green分野	環境対応ケミカル	環境対応製品の拡販	- 溶剤回収新規用途開発 - カイノール生産ライン増設 計画通り進行中※投資③
		LCA対応による環境負荷低減システム開発	LCA評価依頼増加
	高機能糖ケミカル	高付加価値製品の拡販	化粧品原料新製品「HAGmi」マーケティング継続中
		大学等外部機関とのアライアンス強化による糖ケミカル材料開発	開発リソース強化
経営基盤強化		グループ連携強化 サステナビリティを巡る課題への取り組み強化 従業員エンゲージメントの向上	- インドIA GCI工場移転、生産能力増強 - ESG活動実施

主な設備投資の進捗・予定

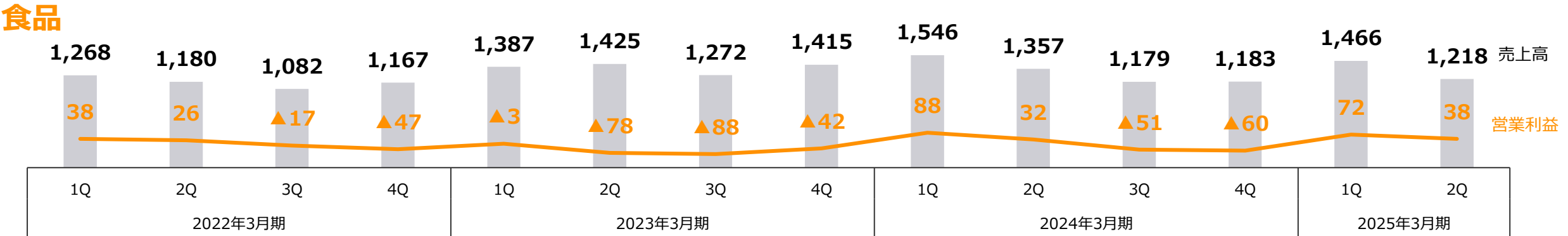
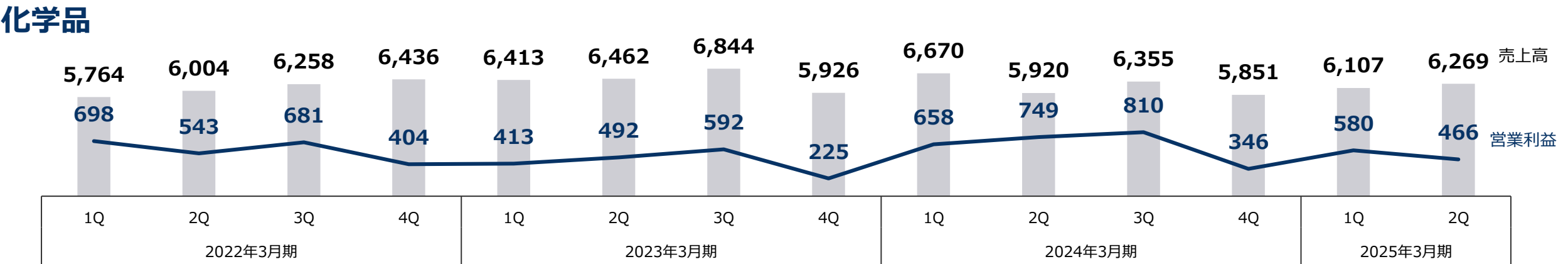
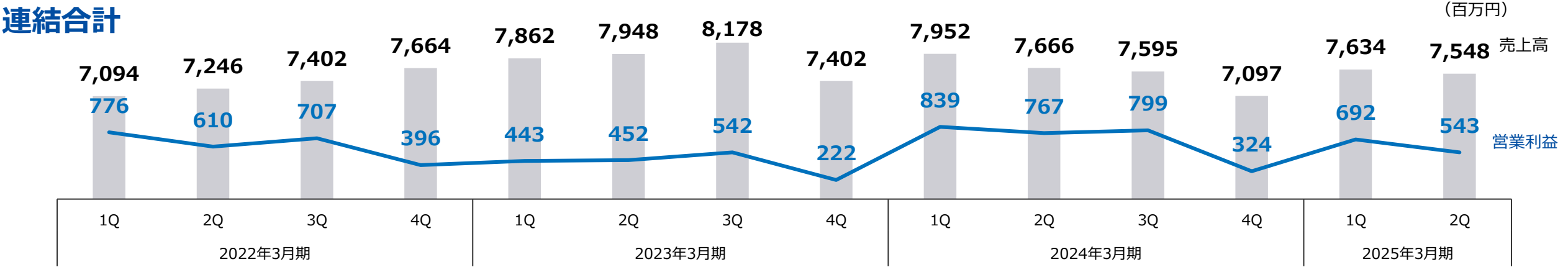
用途	案件	中期経営方針2024			2026年3月期	
		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期		
電子材料	製造設備増設 (※投資①) 投資額：10億円 キャパ：1.3倍	工事・認証		稼働中		
	電材新工場 (※投資②) 投資額：35億円		工事・認証	稼働		
環境材料 (カイノール)	製造能力増強 投資額：1億円 キャパ：1.3倍	工事	稼働中			
	製造ライン増設 (※投資③) 投資額：16億円 キャパ：1.3倍		工事		稼働	

キャパ合計
1.7倍



キャパ合計
1.7倍

Appendix



群馬県高崎市

本社・技術開発センター

群馬工場

(化学品・食品製造)

高崎支店



グループ会社

株式会社ビッグトレーディング

(派遣・業務請負)

滋賀県湖南市

滋賀工場

(化学品製造)



岩手県北上市

グループ会社

東北ユーロイド工業株式会社

(化学品製造・受託製造)



東京支店

大阪支店



主な経営指標等の推移

【 連結 】						
回次 決算年月		第103期 2020年3月	第104期 2021年3月	第105期 2022年3月	第106期 2023年3月	第107期 2024年3月
売上高	(百万円)	26,983	25,194	29,406	31,390	30,310
経常利益	(百万円)	2,141	2,451	2,815	1,939	3,162
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,370	1,607	1,929	1,201	2,040
包括利益	(百万円)	1,410	2,602	1,826	1,838	4,856
純資産額	(百万円)	42,020	43,750	44,899	46,107	50,281
総資産額	(百万円)	50,626	51,984	54,680	54,600	61,010
1株当たり 純資産額	(円)	6,014.34	6,367.01	6,550.74	6,723.36	7,320.51
1株当たり 当期純利益金額	(円)	198.93	242.06	291.13	181.26	307.83
自己資本比率	(%)	79.8	81.2	79.4	81.6	79.5
自己資本利益率	(%)	3.4	3.9	4.5	2.7	4.4
株価収益率	(倍)	12.3	10.5	10.3	14.3	12.5

＜見通しに関する注意事項＞

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて判断したものであり、
将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません

問合せ先：コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818（代表）